

# 海外送り出し機関の紹介

機関名	PT KEBUN TEKNOLOGI INDONESIA	設立年月	2018年12月
所在地	BEKASI TOWN SQUARE BLOK I10-I11, Jl. Cut Mutia, RT.003/RW.009, Margahayu, Bekasi Timur, Bekasi, インドネシア		
P3MI対応状況	P3MI取得済み (ライセンス番号: 81201019920710004)		
自国内の活動エリア	ジャカルタ、ブカシ、ジョグジャカルタ、スラカルタ、スマラン、バリ		
候補者の募集方法	自社教育生徒、SNS、他の送出機関連携、職業高校 (SMK) と大学連携		
日本法人の有無	無 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/>	株式会社ANCジャパン	



PT. KEBUN  
TEKNOLOGI INDONESIA



LPK KEBUN

特定技能「介護」 日本への紹介実績	~2022年度	2023年度	2024年度(※)	特定技能「介護」 東京都事業への 紹介可能人数	9-12月(※)	1-3月(※)	(※) 見込み
	260名	80名	60名		40名	40名	
教育研修期間と内容 (日本語)	看護スキルの訓練は1年間にわたり行われ、日本語学習は「みんなの日本語」や「いろいろ」を使って、週5日、約8か月間行います。学習内容には、日本の生活についても含まれており、各トピックが「いろいろ」に詳しく説明されています。9か月目にはJFT BASIC A2の集中的な準備を1か月間行い、その後、SSW介護試験の対策に移ります。最後の2か月は、試験対策とネイティブスピーカーとの面接準備に集中します。			教育研修期間と内容 (介護)	介護プログラムにおけるSSWの学習は1か月間行われます。第1週目には、体の部位、体の仕組み、介護器具など、介護に関連する語彙の暗記が行われます。その後、学生は高齢者介護の倫理、介護サービス、リスクマネジメントについて学びます。第2週目には、感染症とその対策、高齢者の安全に関する知識を学びます。第3週目と第4週目には、問題演習とその解説に集中します。問題演習の方法としては、学習者主体のアプローチを取り入れ、オーディオやビデオを活用して行うことができます。		
担当者名と経歴 (教育研修)	マルディアンシャ・マルディス (代表) 日本在住16年。国費留学生として来日し、名古屋大学工学部から博士課程までを修了。日本とインドネシアの架け橋となり、今後も様々な事業を展開してまいります。			担当者名と経歴 (連絡窓口)	坂井ともえ 2007年から、日本、メキシコ、カンボジア、インドネシアで日本語教育に従事。カンボジアではディレクターとして現地の大学内の日本語コース立ち上げにも参加。インドネシアでは現在まで約3年間特定技能の教育をサポート。		
特徴・PR	インドネシアのSMK Keperawatan (看護専門学校) と提携し、介護に関する教育を行っております。すでに介護への志が高い生徒たちが集まっており、彼らは若いため、学習の吸収力が高く、特に定着率が高い点が特徴です。						
ホームページ	<a href="https://training-center.kebun.tech/">https://training-center.kebun.tech/</a>			その他SNS	<a href="https://www.instagram.com/lpkkebun/?hl=en">https://www.instagram.com/lpkkebun/?hl=en</a>		